

KS プロジェクト・俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～全国 大会観戦記①

2018.08.17

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～」です。

本プロジェクトは、その名の通り、毎年8月に愛媛県、俳都松山で開催される俳句甲子園全国大会出場を目標としたプロジェクトです。今年度も激戦区である東京地区大会を見事に勝ち抜いた我らが海城は、本日(8月17日)、ついに念願の MATSUYAMA 入りを果たしました。全国大会出場は、これで3年連続3回目の出場となります。高校俳句界においても、少しずつ名前を認知されつつあることをうれしく思っています。

本日は、明日から始まる予選の組み合わせ抽選を兼ねたウェルカムパーティーが松山大学で開催されました。俳句甲子園は、プレバトでお馴染みの夏井いつき先生が発起人となった大会で今年度で21回目の大会となります。OB、OG が運営に深く関わるのが特徴の一つとなっていて、今日のウェルカムパーティーも彼ら彼女らが中心となる、実にアットホームな会となっています。全国から集まった仲間たちとの歓談を楽しみつつ、メンバーは明日からの戦いに向け、静かに闘志を燃やしていました。

1 ウェルカムパーティーでの一コマです。



2 壇上にてチーム紹介です。



3 対戦相手が決定しました。

海城は、Eブロック。

岩手代表・水沢高校 B、愛知代表・

名古屋高校、福岡代表・筑紫丘高校と

総当たりのリーグ戦を戦います。



対戦相手は、いずれも全国大会の常連校です。一戦一戦、丁寧に戦うことで、まずは予選リーグ突破から目指していきたいと思います。7月末に全国ベスト4となった競技かるた部に続くべく、明日から全力を尽くす所存です。応援よろしく申し上げます。

KS プロジェクト・俳句甲子園～road to MATSUYAMA～全国大会観戦記②

2018.08.18

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～」です。

8月18日(土)、今日は開会式、そして予選リーグの日になります。場所は松山市最大の繁華街に位置する大街道アーケード商店街。屋根はあるとはいえ、屋外での試合は暑さとの戦いでもあります。

開会式です。堂々たる入場行進をご覧ください。



予選リーグは、4校による総当たり戦。勝ち抜けば、お隣りFブロックの勝者と決勝リーグ進出をかけた戦いに進めます。過去2年は、ブロック突破を果たすことができなかったため、まずはそこを目標に一日はスタートしました。

今大会最初の対戦相手は、愛知代表の名古屋高校。名古屋高校は第18回大会の優勝校。相手にとって不足はありません。「草笛」という兼題で行われた試合は白熱した好試合となりました。

両校一步も譲らず、先鋒、次鋒、そして大将戦いずれも旗は3対2。まさに紙一重の戦いとなり

ました。結果は残念ながら 1 対 2 で黒星スタートとなってしまいましたが、全国でも十分戦えることを周りに知らしめた初戦となりました。



目標であるブロック突破を果たすためには、絶対に負けられない第 2 戦。相手は、福岡代表の筑紫丘高校。こちらも九州の強豪校。兼題は「蛇」。一進一退の好ゲームとなりました。海城は、この試合を 2 対 1 と取り、目標達成に望みを繋ぎました。海城が勝利したことで、4 チームが 1 勝 1 敗で並ぶ大混戦となりました。お昼休みを挟んだ午後の試合へと勝負の結果は持ち越されることに。



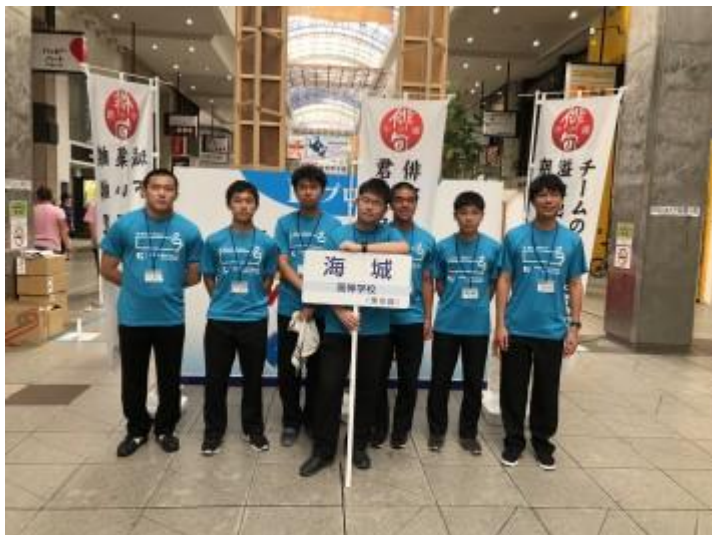
第3戦は、岩手代表の水沢高校 B。水沢高校は、昨年度の大会で旋風を巻き起こした注目校。個性豊かな、エッジの効いた句が印象的な学校です。兼題は「胡瓜」。海城は幸先よく、先鋒戦を取ったものの、次鋒、大将戦を惜しくも落とし、1対2で敗戦。善戦及ばず、予選リーグ敗退が決定しました。激戦のEブロックを制したのは、水沢高校 B。目標達成はならなかったものの、海城は面白い句を作る学校、そして面白い試合をする学校、という評価をたくさんの方々から頂戴しました。全国大会において確実に何らかの爪痕を残すことができたのではないかと思います。



明日はいよいよ決勝リーグが松山市コミュニケーションセンターで開催されます。決勝リーグ進出校は全部で6校。うち4校は本日の予選リーグで決定しています。残り2校は明日決勝リーグに先駆けて行われる敗者復活戦で決定します。そう実は海城にも、わずかではありますが、決勝リーグ進出の可能性は残されているのです。あきらめることなく、まずは明日に備える所存です。果たして海城の運命はいかに？

待て次号！

それでは明日またお会いします。



KS プロジェクト・俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～全国 大会観戦記③ 祝 ✨全国ベスト4 ✨

2018.08.19

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～」です。

今日は何からご報告すればよいのやら。ご報告したいことがあり過ぎます。

昨日お伝えしました通り、今日は決勝リーグに先立ち、まず敗者復活戦が行われました。敗者復活戦は、初日のウェルカムパーティー後に投句した句を審査員の先生方が審査します。その結果として、選ばれた9校9句が発表されるのです。ちなみに敗者復活戦の兼題は「水鉄砲」でした。みんなで固唾を飲み、発表を見守ります。



歓喜歓喜、そして歓喜。喜びが爆発します。海城の名前がありました！ ちなみに海城を含め、昨日 E ブロックだった学校の大半が選ばれていました。E ブロックが激戦区であったことが証明された瞬間でもありました。ちなみに海城の句は次の通り。

水鉄砲みずでっぼうの味の水

すぐさま選ばれし9校は、そのまま審査員の先生方との質疑応答に入ります。句の作品点と、自身の句に対する理解の深さを点数化し、上位2校が敗者復活となります。最後のチャンスを生かそうと壇上で懸命に句の魅力を語ります。



いよいよ運命の結果発表です。



歓喜歓喜、そして歓喜。本日2度目の喜び爆発です。海城は、予選を戦った名古屋高校と共に、敗者復活で、念願の決勝リーグ進出を決めました。

海城が入ったのはBブロック。今年度全国3連覇がかかる開成高校と初の決勝リーグ進出で意気あがる岡山代表の岡山朝日高校と同じブロックです。

総当たりのリーグ戦。1位の学校が決勝に駒を進めます。

海城の最初の相手は、開成高校。東京地区大会において過去何度も対戦したことがあります。我が校にとって開成は目標でもあり、越えなければならない高い壁でもあります。その開成と全国大会の、しかも決勝リーグで対戦できることの喜びを噛み締めつつ、選手は試合に臨みました。

試合の兼題は「残暑」。いきなり先鋒戦を取り、意気あがる海城でしたが、地力に勝る開成の力に圧倒され、1対4で惜しくも初戦を落としてしまいました。ただし1対4の結果ほどの差は感じられず、先鋒戦から大将戦までのほとんどが僅差の争いであったため、選手たちのモチベーションは決して下がることはありませんでした。





連戦となった第2戦。相手は岡山代表、岡山朝日高校。丁寧なディベート、実直な作風が特徴の学校です。兼題は「草の花」。決勝リーグの雰囲気慣れた海城は本領を発揮。5対0で勝利。他力本願ではありますが、決勝進出の可能性をわずかながら残すこととなりました。





お昼ご飯を挟み、開成対岡山朝日の試合を観戦します。この試合に岡山朝日が勝利し、3チームが1勝1敗になることが、海城が決勝戦に進出する最低条件となります。様々な感情が交錯する中、眼前で試合は進んでいきます。試合は一進一退を繰り返す好勝負となりました。海城と同じく決勝リーグ2戦目となり、硬さのとれた岡山朝日が本領を発揮。3対2で開成高校に勝利しました。その結果、前述した通り、3校が1勝1敗で並ぶ事態に。決勝進出は、ポイント数で決することとなりました。ポイント数確認のために待たされた時間のあまりに長かったこと。出て来た結果は次の通りでした。

6ポイント 海城高校・開成高校

3ポイント 岡山朝日高校

ポイント数で並んだ海城と開成。明暗を分けたのは、直接対決の勝敗でした。結果、決勝進出を決めたのは開成高校。海城のチャレンジはここに終結したのです。

優勝したのは、山口代表、徳山高校。初優勝です。海城は奇跡の敗者復活を生かし、全国ベスト4入りを果たしました。

決勝戦の後、行われた表彰式では、決勝リーグに進出した学校に送られる特別賞を受賞しました。



続いて行われた個人賞の発表では、個人優秀賞入選 20 句に大熊光汰の

骸なほ翼あたらし草の花

が選ばれました。



中央が大熊。右が山本。左が松本です。山本、松本コンビはリザーブとして、チームを献身的に支えてくれました。

審査員の岸本尚毅先生が今大会を振り返るにあたり、各学校のディベート能力の向上を挙げておられましたが、その際本校のディベートの様子を好例として紹介してくださいました。岸本先生はじめ、この大会中、たくさんの方々にお褒めの言葉を頂戴しました。生徒たちが褒められることは、私たちにとって何よりの喜びです。全国大会で活躍する生徒たちのことを誇りに思います。



生徒たちは、試合後、俳句甲子園 OB、OG 主催によるフェアウェルパーティーに参加しました。

戦いを終え、一緒に戦った同好の士との交流を楽しんでくれていればと思っています。今日は本当にお疲れ様でした。

KS プロジェクト・俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～全国 大会観戦記④

2018.08.20

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道～road to MATSUYAMA～」です。

本日は松山をあとにして、東京に帰る日になります。

生徒たちは、昨日の疲れをものともせず、松山城に吟行に。そこで作った句を持ち帰り、お昼からホテルで句会をおこないました。



午後 5 時。飛行機で松山空港を出発。定刻通り、羽田空港に到着。たくさんの土産話を持って帰宅の途につきました。

本プロジェクトは、その名の通り、俳句甲子園全国大会出場を目指すものでした。出場するだけでも、素晴らしいことなのに、生徒たちはその全国大会で最高のパフォーマンスを披露してくれました。生徒たちに感謝感謝です。たくさんの感動をありがとう。

本プロジェクトに関わっていただいたすべての方々に、この場をお借りして、深く深く感謝申し上げます。

2学期から、新シーズンに向け、早速動き出すつもりです。新メンバーとの出会いも今から楽しみです。

